仕 様 書

１．件　名　　先端研究基盤共用推進事業プロモーションビデオ制作

２．数　量　　一式

３．目　的　　企業、大学・研究機関の関係者に当研究所に保有する先端機器を共用化するに当たり、それらの機器を分かりやすく紹介する。

４．履行期限　平成２６年9月３０日

５．履行場所　研究基盤センター先端研究基盤共用推進室

６．業務内容

以下の項目のとおり制作をおこなうこと。

６．１　提供資料

①先端研究基盤共用パンフレット
②当研究所パンフレット
③ナレーション案（Microsoft Word版）
④動画撮影場所の案（静止画、Microsoft Powerpoint版）
⑤動画挿入テロップの案（Microsoft Word版）
⑥アニメーションまたはCGの原案（静止画、Microsoft Powerpoint版）
⑦静止画の原案
⑧その他、制作の参考となる資料

６．２　制作の留意事項

①先端機器に関する専門的知識が必要になる場合は当研究所担当者に問い合わすこと。
②不明点は当研究所担当者に問い合わすこと。

６．３　制作の仕様

（１）項目と時間

項目（仮称）	内　容	時　間
はじめに	先端研究基盤共用推進事業の紹介	約１分
PIXE分析	加速器、分析装置、性能などの紹介	約２分
細胞照射	マイクロビーム照射装置、性能などの紹介	約２分
中性子照射	加速器、中性子発生部、性能などの紹介	約２分
X線・ガンマ線照射	各種照射装置、性能などの紹介	約２分
利用方法	利用の方法、料金などの説明	約２分
	合計	約11分

項目、内容、時間などについては若干の変更を含むとする。

（２）基本性能

以降に示す画面を参考にしながら、①～⑤の基本性能を満足すること。

①それぞれのパートはメニューで選択可能とする。各パートの紹介の動画を単独で見ても内容がわかり、かつ全体で通してみても違和感がないこと。
②言語は日本語で制作のこと。
③BGMや効果音を適宜挿入する。また、視聴者にわかりやすく伝える工夫として、コンピュータ・グラフィック（CG)、アニメーション、模型等を提供する資料を元に作成し適宜挿入すること。
④ボタンをクリックしたことをユーザが視覚的に確認できること。どの画面からでも視聴を中断してトップに戻れること。また、再生モードを選択（1回、複数回、繰り返しなど）できる操作ボタンを用意すること。
⑤画面、ボタン、プルダウンメニューなどは機能が発揮できるように制作者の方で適切に設計すること。

（３）第一階層の制作

以下のコントロール画面（例示）を制作すること。

①ごあいさつ、・・・、利用方法の各ボタンをクリックすることによって次の動作に進む

ものとする。各ボタンの色、形状、位置は制作者で決定すること。
（以下、各階層のボタンについては同様とする。）

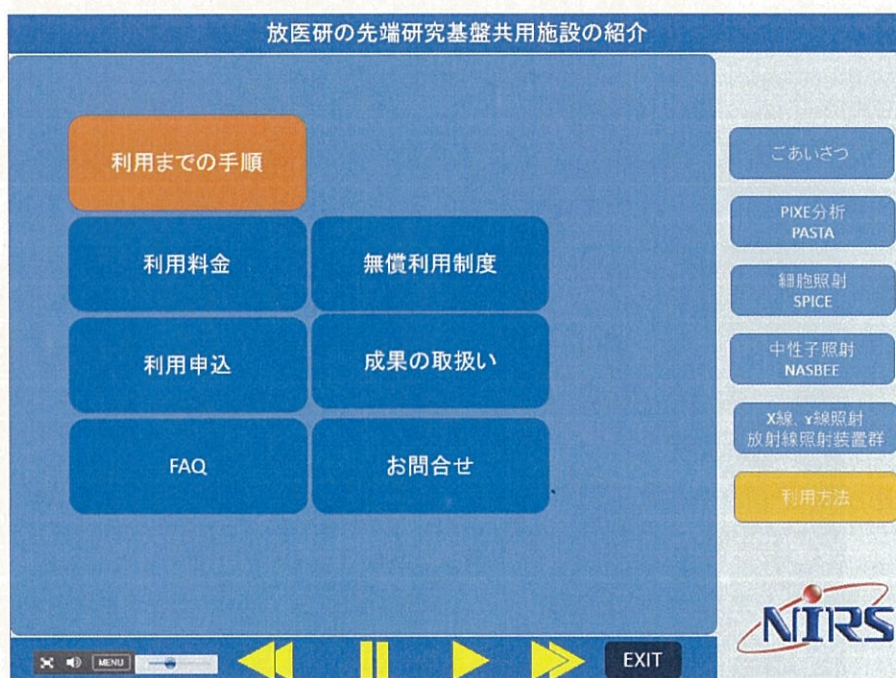
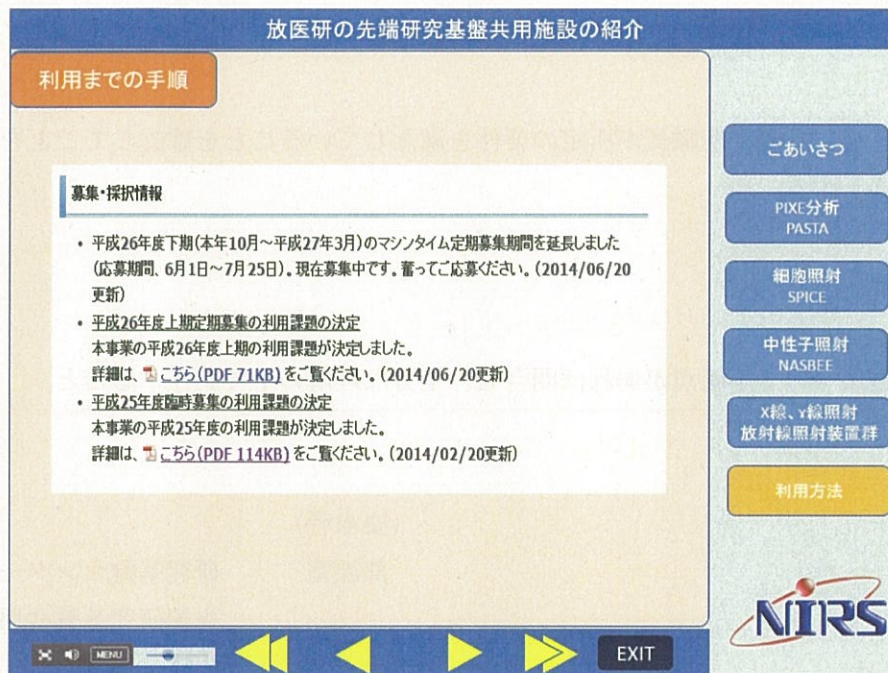
（4）第二階層の制作

以下のコントロール画面（例示）を制作すること。

①ボタンの一つをクリックすると、対応する項目の画面に移動するものとする。
②クリックされたボタンの色は別色となるようにする。
③この階層で動画または実写、アニメーション、ナレーションが入る。
④指定した箇所にはテロップが入る。
⑤左ダブル△ボタンは節の最初の画面に戻る動作をする。
⑥中央の　は上映の一旦停止をする。
⑦右△ボタンは一旦停止の解除、上映再開をする。
⑧右ダブル△ボタンは次の節へ飛ぶ動作をする。
⑨ＥＸＩＴボタンは表紙に戻る動作をする。
⑩△ボタンの色、形状については制作者で決定すること。

（５）第三階層の制作

「利用方法」には第三階層を設けること。

①「利用方法」ボタンがクリックされると下記の画面が掲示され、それぞれのボタンをクリックすると色が別色に変わる。
②このときナレーションが同時に流れる。「これから利用方法をご説明いたします。関心のあるボタンを押してください。」絵では「利用までの手順」を押しているので、この時ナレーションは「利用までの手順をご説明いたします。」という。

③その後第三階層の画面に移行して利用までの手順を説明する。
④各ボタンは同じ動きと対応するナレーションとなる。
⑤いつでも「メニュー」ボタンで第二階層に戻ることができる。
⑥いつでも「EXIT」ボタンで中断することができる。

（６）成果物の制作

①すべての仕様を満たしたプロモーションをDVDに焼き付けること。
②タイトルなどを印刷してあること。
③WINDOWS-PC、MAC-PCで動作確認すること。
④DVDの中身は「コントローラ」、項目ごとの「動画ファイル」とする。
　ただし「動画ファイル」は「コントローラ」なしでも汎用の画像再生ソフトで再生できること。

７．必要な能力・資格

①プロモーションビデオを受注し、制作した実績があること。
②十分な体制で業務の遂行できること。

８．提出図書

①成果物を DVD で５枚納入すること。ただし、成果物の著作権は当研究所が所有する。
②取扱説明書　５部

９．検査

作業完了後、当研究所職員が所定の要件を満たしていることを確認してことをもって検査合格とする。

１０．その他

本仕様書について不明点があれば問合せ、十分な理解の下で制作すること。

（要求者）
部課室　：　研究基盤センター
　　　　　　先端研究基盤共用推進室
氏　名　：　山縣　徳嗣